

6 1. 解答 C

A：誤 通常、発作時に焦点の高血流、非発作時に焦点の血流低下がみられる

B：誤 MRI で側頭葉皮質病変がみられる。臨床症状が異なる

C：正 右優位に両側側頭葉の血流増加がある。

D：誤 アルツハイマー病では頭頂葉、側頭葉の血流低下が通常観察される

E：誤 臨床症状が異なる

6 2. 解答 d

A：誤 臨床症状が異なる

B：誤 アルツハイマー病は帯状回後部、頭頂葉の血流低下が観察される

C：誤 小脳の血流低下がみられない

D：正 前頭葉優位の血流低下がみられる。合致する所見である。

E：誤 レンズ核の血流低下がみられない

6 3. 解答 b, d

A：誤 通常、心筋集積を認める

B：正 心筋集積が無い

C：誤 通常、心筋集積を認める

D：正 心筋集積が無い

E：誤 通常、心筋集積を認める

64. 解答 b

A：誤 下肺の位置ずれが大きい

B：正 ミスマッチと逆ミスマッチが混在し矛盾は無い

C：誤 逆ミスマッチの像が含まれている

D：誤 血流支配が異なる

E：誤 臥位と座位では分布が異なる

65. 解答 e

A：誤 臨床症状が異なる

B：誤 ハセドウ病では集積が亢進する

C：誤 臨床症状が異なる。

D：誤 通常甲状腺の描出は認められる

E：正

以上、解答 61～65 は長町 茂樹会員（宮崎大学）